

ツバメが家の軒に巣をかけると豊作になる
ツバメが2度巣をかけるとお金持ちになる
ツバメの巣が多いほど、その家は繁栄する

愛育園にも新しい園舎になって17年。児童玄関には、毎年のようにツバメが巣をリフォームし、ひなを育て旅立っていきます。

愛育園も児童が落ち着き、自分自身のことをしっかり考え行動できる子が増えました。そんなことから、先日のお参りで「ツバメは外敵から身を守るために人の出入りが多い家や場所、火事が起きない、病人が出ない場所をちゃんと見極めて巣をかけるんだよ。園にも毎年、巣をかけて子育てしているのは、まさに園の皆が良い子で安心して安全な場所だという証拠なんだよ。もっと増えると愛育園全体が幸せになって繁栄していくね」と話をしたところ、子どもたちからは「玄関だけじゃないよ。あそこにも。ここにも」と何と児童玄関と合わせて3つ巣がありました。そして最近、2つの巣が建設中だということもわかりました。本当に愛育園は安心、安全な場所であり子どもたちの将来を見守られているのです。毎年、この時期にツバメの

子作り、子育てが慌しく行われることをみると園の生活に似たものを感じました。玄関やベランダのツバメの糞を片付けるのは容易なことではありませんが、日頃からきれいにする。人の出入りする場所をお掃除することがなぜ大事かをツバメが何かを私たちに教えてくれているのかもしれない。これからは愛育園にウン(糞=ウン=運)がつかますように。



少年野球の様子

副園長 青谷 幸治

毎週、日詰コーチにお世話になり、水・金・土・日と練習を行っています。低学年や初心者が多いため根気のいる指導をやっていただいています。大人が思うように身体を使いこなすことができません。息の長い指導をしていただいていることに頭が下がります。何度も何度も繰り返し教え、身体で感じ、覚えていきます。春先に比べ動きもスムーズになり、試合をやっても試合らしくなってきました。

しかし最近思うことは、慣れてくると声が出ない、人の話を素直に聞かない、小さな子が道具を準備して、大きな子がダラダラしているなど。目につくことが増えています。

一人のスーパースターがいて勝てるチームを作るよりも、個々の力や技術は劣っても皆で協力し合って勝てるような1戦1戦盛り上がりしていくチームが愛育園には必要だと思います。7月8日は田毎杯、23日は円福杯球技大会と大会が続きます。日詰コーチが日頃から「負けても1点取れば勝ち」と言っています。強い相手でも1点でも多く取って食らいつく。そんな強い心で勝負していきたいです。

通明小学校との懇談会

保育士 佐々木 弘観



6

月14日に愛育園にて通明小学校との懇談会がありました。今年も校長先生、教頭先生はじめ、多くの先生方に来ていただきました。

小学生達は学校の先生方が来てくれることをとても楽しみにしていました。園内の見学の時、先生の姿が見えると嬉しそうに挨拶をしたり、終わった宿題を見せていたり、一緒にキャッチボールをしたりしました。

その後、学校の先生方と子ども達の園内の様子や学校内の様子を話し合い、普段聞けない細かい部分の話聞くことができました。園内では見せない姿もありとても頑張っていると感心しました。懇談会が終わり、先生方にはお参りにも参加していただき、夕食も一緒に食べていただきました。先生の隣でご飯を食べて照れくさそうにしながら、とても楽しい時間を過ごしていました。



『父の日』 まごころ 竹内早季

今回父の日に向けて、子どもたちとプレゼント作りをしました。作ったものはうちわと写真たてです。私は中高生の女の子たちと、うちわ作りを担当しました。うちわの紙の部分に水彩絵の具でたくさん水玉を描き、その上に一人一人のメッセージを書けるようにしました。父の日まで日が無い中、中高生への協力をお願いするもの急になってしまいましたが、快く引き受けてくれました。絵が得意な子、苦手な子様々で、「上手くできるかな・・・。」と不安そうに呟きながらも一生懸命取り組んでいました。また、子ども同士で「ここどんな色にしたらいい？」など聞きあっている姿もありました。私も今回初めて父の日のプレゼント作りの一部をやってみて、何かを作りあげることの大変さを改めて感じました。準備がまず一番大切だなと思い、今後に活かしていきたいと思いました。出来上がったうちわにみんなでメッセージを書きました。のぞいてみると日頃の感謝や、やってもらって嬉しかったことなどみんな思い思いのことを書いていて、きっと喜んでもらえると感じました。子どもたちの思いが見れた温かい父の日になったと思います。

ステーキ食

調理主任 伊藤 慈子



6月11日(日)の昼食に、子供たちが大好きで楽しみにしていたステーキ食を園庭で行いました。当日は天気も良く、BBQ日和でした。朝から、中高生が率先してホーム職員と共に準備をしてくださいました。BBQコンロ・鉄板・トング・木っ端などお肉を焼くための準備、テーブルやいすなどの食

べるスペースの準備、そして火おこしをしてくださいました。毎年のキャンプやBBQ行事で、なんども準備をしてくれているからか、とても手際が良く、ホーム職員との連携が取れていて、スムーズに準備ができていました。

そんな中私達調理は、ステーキをのせる鉄板皿・ナイフ&フォークを出し、付け合わせのにんじんグラッセ、フライドポテトを作り、ご飯を炊き、冷やしたジュース・ステーキソース・食器を用意しました。今回のステーキソースは、ステーキがさらにおいしくなる『ステーキ宮のたれ』を購入しました。また、鉄板皿は厨房のオーブンで温めておきました。あとはお肉を焼くだけです。お肉は、龍堀石材店様より頂きました。ステーキは、幼児さんから小学生と、小さい子の分から、中高生とホーム職員が焼きます。

ホーム職員から「そろそろ焼きます！」と声がかかると、調理でお肉を渡し、焼きだしたら、温めていた鉄板皿を運び、それをさらにBBQコンロで温め熱々にし、焼けたお肉を乗せたらすぐにステーキソースをかけ、子供のもとへ配り、付け合わせ・ご飯を盛り、熱々を「いただきます〜す！」と、食べ始める作戦です。とにかく子供たちに、熱々ジュージューいっているステーキを食べさせたい一心なのです。鉄板皿が熱々すぎて、ステーキソースが飛び跳ね、子供たちはよけながら落ち着くのを待ち、熱々ステーキを、「おいしい!!」と言いながら味わって食べていました。天気の良い外で、焼きたてをみんなで食べるステーキは最高で、みんな大喜びでした。みんなで準備し、焼いて盛り付け配ることまで子供たちがするからまた、格別なのだと思います。

昼食時に食べられなかった子供達には、夕食時に厨房で焼いて出し、さらに遅く帰園した子には、ホーム職員が園庭でBBQコンロで焼いて出してくれました。子供たちみんな食べる事が出来ました。皆が協力し合ったからこそ、とても楽しく、おいしい行事、ステーキ食となりました。



わいわいカルビさんからのご招待

まごころ保育士 渡邊梓

6月20日、今年もわいわいカルビさんにご招待頂き、園児、職員みんなで焼肉をいただきました。子ども達もこの日が来るのをとても楽しみにしていました。ご招待当日も、学校から帰ってくると、宿題や明日の学校の準備をテキパキと行っていました。わいわいカルビさんに到着すると、お店の方にしっかりと挨拶をしたり、綺麗にはきものをしまったりと子ども達の礼儀正しい姿も見られました。当たり前のことが当たり前に行っている子ども達はすごいなと思いました。



みんなで乾杯をして、お肉をいただいたところで、長野パルセイロの選手、スタッフさんが今年も来てくれました。子ども達も大喜びです。「ここ空いてるよー！」と自分の横の席に選手を呼んだり、去年も来てくれたの覚えている！とても嬉しそうでした。パルセイロの方々と改めて乾杯し、お肉を食べ、お腹もいっぱいになった所で、子ども達お待ちかねのじゃんけん大会です。今年も子ども達のために、パルセイログッズを用意して頂きました。グッズの中には、パルセイロの選手が昨シーズン使っていたというサッカーボールもありました。大興奮のじゃんけん大会、正々堂々じゃんけんをし、全てのグッズが子ども達の手に入った時に自然と拍手が起こりました。みんな笑顔で、みんなが一体になった感じがして、やっぱり愛育園っていいな、と思いました。

毎年わいわいカルビさんからご招待頂いていることを当たり前と思わず、感謝の気持ちを日々の生活、自分の目標へとつなげてほしいと願います。



子供坐禅会に参加して

庶務・会計 石黒玄章

昨年に引き続き、上田地域の若い和尚さんが主催する坐禅会に、小学1年生から高校生ままで児童総勢16名で参加させて頂きました。



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

昨年参加した児童も多く、今年は気持ちに余裕を持って参加しているように見えました。開会式が始まり、般若心経の読経を大きな声で唱えていると、毎日の成果が現れ、参加した僧侶も驚いておりました。

坐禅が始まると、普段経験した事の無い静寂の中に虫の声や風の音が心地よく、普段の子ども達の落ち着きの無さが嘘みたい、作法に則り全員しっかりと座る姿はとても素晴らしかったです。

食事も規則の中で静かに頂くのですが、皆残すことなくおかわりをして、美味しく感謝して頂戴しました。和尚さんのお話や映画鑑賞も参加者の中で模範になるような姿で参加しました。

昨年に引き続き参加させていただき、園の子ども達は本当に立派です。普段の日課がこういう場面でも生きています。今後大人になるに連れて社会の現実には葛藤を抱く時もあるかと思えます。そんな時こそ今回の坐禅会を初めとして、日課の尊さを思い出していただき、更なる飛躍を願いました。

子供座禅会 児童感想

6月10日に龍洞院で子ども禅の集いがありました。自分は滅多に座禅をすることがないので、いい経験になりました。円福寺愛育園の職員である石黒先生に警策を入れて頂きました。警策を入れてもらったら、気持ちがとても楽になり、今まで悩んでいたものが一瞬でなくなりました。これから気持ちが上がってしまった時、落ち着いていきたいと思えます。(高3 S・A)

禅の集いに行きました。私は、行くのが楽しみだったので、ウキウキワクワクして行きました。どんな所なのかな、何をやるのかな、と思いながら行ったら、座禅、和尚さんが修行の時に食べるご飯、お参りなどの体験をしました。そのような体験が出来るのは、自分にとっていい経験になるな、と思えました。いい勉強になったと思えます。これからの生活に生かしていけたらいいな、と思えます。(小5 M・M)

6月10日に禅の集いに参加しました。私は、般若心経を唱える時に、ろうそくを持つ係をやりました。ろうそくは初めて持ったし、お線香より火が燃えていたのでこわかったです。座禅は、昨年やったけど、たたかれるのがこわくて、頑張って姿勢を良くしました。でも、午後はみんなたたかれるので、いつくるのかな？とドキドキしました。でも、あまり痛くなかったので安心しました。でも、和尚さん達の修行ではもっと痛い事を教わりました。痛い嫌いな、と思えました。小学生は和尚さんのお話を聞きました。内容は「姿勢を良くする」というお話でした。姿勢を良くしないと、大人になって肩などが痛くなってしまうので、毎日の生活から「姿勢を良くする」ということを心がけたいな、と思えました。(小4 U・S)

児童作文

野球部に入って

高1 R.M

入部してから2か月が経ち、夏の大会も近づいています。毎日夜8時過ぎに帰ってきたり、休日朝早く園を出て、練習試合の準備や補助をしたり、何かと忙しい日々を送っていますが、毎日充

(平成29年7月10日発行 月刊「円福」492号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

実しています。

今年の春の大会では29年ぶりにシード権を獲得し、甲子園を目指している先輩方の力になれるように補助なども頑張っています。

自分自身では、今年の秋の大会でベンチ入りをするという目標を立てました。この目標が達成できるように、先輩方のお手伝いをしながら、合間の練習に一生懸命頑張っていきたいです。

野球部に入部して

中1 N.M

中学校の野球部に入って、今頑張っていることは、応援です。一年生は毎日、応援練習していますが、大きな声が出るように頑張っています。

北信大会の一回戦で勝つ事が出来ましたが、大きな声で応援することが出来ました。

僕は部活だけでなく普段の生活から頑張っていきたいと思っています。僕は字が雑だったり、勉強が好きではないですが、嫌いな事や苦手な事はやらない人にならないように頑張っていきたいです。普段の生活も手を抜かずにできれば、野球ももっと上手くなれると思えます。部活はまだ始まったばかりですが、これからたくさん練習して頑張っていきたいです。

女子バレーに入部して

私は今年中学に入って女子バレー部に入部しました。初めはバレーに全く興味がなかったけど、入部して、トスの練習やレシーブを繰り返してやっています。まだ2カ月しかやっていないけど、辞めたいと思ったこともあったけど、色々乗り越えて行こうと気を取り直して努力しています。これから先も頑張っていきたいです。(中1 H・W)

よもぎ団子作り

調理員 宮沢 まき江

5月21日、小学生の子どもたちが2班に分かれ、よもぎ団子作りをしました。

春にしか味わえないよもぎを調理主任の先生にとってきて頂き、昼食後、子どもたちは張り切ってエプロン、三角巾を付け、笑顔で食堂にやってきました。

大きなボウルの中の材料を順番を決め、一人一人こねました。

「手についちゃうようー」「やわらかくて気持ちいいー」と様々な声が飛び交っていました。耳たぶ状態になった所で、一口大にちぎった物をみんなで丸め、卓上コンロで鍋にお湯を沸かし沸騰した中に入れ、浮いた物から冷水を取り、粒あん、きなこ、ごまの種類によもぎ団子が大きな歓声と共に子どもたちの手にかかり出来上がりしました。そして園全体のおやつとなりました。

季節感を味わえ、子どもたちとの楽しいひとときが最高でした。

中体連の野球を応援して

副園長 青谷 幸治

6月24日、中体連野球大会の2回戦に応援にいきました。園からも中3の児童が3番レフトで出場しました。1回に当園児童のタイムリーで1点を先制し、1-0で我慢の試合展開でした。しかし後半打たれ、逆転され結果1-2の逆転負けでした。

スタンドから応援して見えたことは、チームワークはどうだったか？個々のレベルが高くてモチ

チャンスでの心は平常心であったか？いろいろ思うところがありました。当園中 3 児童が大会 2 週間前に「うちのチームは練習ではまとまりがないけど、試合ではまとまるんだよな」と言ったことを思い出します。普段できないことは大舞台では絶対にできないこと。ある程度の力があっても、勝ち進むには最後は技術だけではなく、チームワークや信じる力、試合の間だけではなく試合の前後の準備や後片付け、挨拶、そして回りの方々への感謝をもて行動できるかにつきると思いました。

最近、アスリートが TV の取材で技術以上に「人への感謝、あとスリッパをそろえるとか・・・」などの言葉を聞く事がありました。多くのアスリートが技術以上に気にして行っていることが心のあり方や行動の見直しです。技術も大事。それ以上に心のあり方がもっと大事。教育者として、福祉者としてこの試合を観戦して何か教えられたように思います。愛育園の教育の中心は心のあり方です。より一層、子どもたちの自立に必要なことを強く感じました。

中学 3 年生のみなさん、中体連お疲れ様でした。また高校で結果を残してください。

あおぞらホームだより

あおぞら保育士 近藤誠志郎

一学期も終わりに近づき、暑さも徐々に増してきたように感じます。愛育園の子どもたちは無遅刻無欠勤を続けている子が多く、体調を崩すことなく一学期を終えられるよう規則正しい生活を促していきたいと思っております。

小学生はプール学習が始まり、子どもたちから「苦手だけど今年は泳げるようになるように頑張る」といった声もあり、毎日張り切って登校しています。プール学習のきまりをしっかりと守って、怪我をしたり、怪我をさせたりすることなく楽しく頑張ってもらいたいです。

中学生は、6 月末に期末テストを控えており、前回の中間テストの点数より少しでも高い点数をとろうと、勉強に励む姿があります。また、部活動をしている子どもたちは北信大会があり、残念ながら県大会に進むことはできませんでしたが、練習の成果を発揮し、成長した姿を見せてくれました。他にも、愛育園での行事や日々の生活で率先して手伝いをしてくれたり、園の植物の世話をしてくれる子どももいて、それぞれが一生懸命に生活しています。

高校生はそれぞれ目標に向かって頑張っています。部活動をしている園児は、夜遅くまで練習をして帰ってきても、学習に励む姿があります。また、部活動をしていない園児も、夕方帰ってきてから学習に取り掛かっていたり、免許を取るために勉強していたりと、自分のすべきことを考えて生活しているように見えます。高校 3 年生の S 君は将来の夢のため、平日は学校終わりに、休日は一日中アルバイトをしており、毎日頑張っています。皆、それぞれの目標を達成できるよう背中を押していきたいと考えております。

これから夏休みに近づき、様々な行事が待っています。新任職員の私にとっては、子ども達と過ごす初めての夏となります。今年の夏が忘れられない夏になるよう、子どもたちと共にどんなことにも全力で取り組みたいと思います。

まごころホームだより

まごころホーム 保育士兼指導員 加藤ゆかり

1 学期も残すところわずかになりました。梅雨の時期に入り、じめじめした日や、暑い日が続いていますが、まごころホームの子ども達は毎日元気に登校しています。幼稚園や小学校ではプール活動が始まり、子ども達は嬉しそうです。“去年よりたくさん泳げるようになりたい！”と意気込んでいる子が多いです。安全に楽しく、プール活動を行ってほしいです。

まごころホームでは、自分の目標に向かって努力している子が多いな、と最近感じています。少年野球の練習を頑張る子、合唱コンクールに向けて練習に参加している子、書道の昇級を目指して頑張る子、ピアノの発表会に向けて練習に励む子、中学・高校受験に向けて勉強を頑張る子、部活動に打ち込んでいる子、卒園に向けてアルバイトを頑張る子…。それぞれの目標に向かって本当によく頑張っています。習い事や部活をやらせてもらえる感謝の気持ちを忘れずに、園での生活も頑張してほしいです。また、私達職員は、子ども達の頑張る姿を傍でしっかりサポートしていきたいと思えます。

7 月は安曇野で BBQ をしたり、円福杯野球大会があったり、夏休みが近付いてきて楽しみな気持ちがあると思いますが、日々落ち着いて、1 学期のまとめをしっかりとってきてほしいと思えます。

調理室だより

調理員 大下はる江

梅雨入りとなりましたが、天気が良く爽やかな日が続いています。

食堂の壁面も今月は紫陽花と傘が色とりどり良く咲いています。

そして、今月に入り調理室にはスチームコンベクションオープンが入りました。

スチコンの優れている点は、蒸す 焼く 煮る 炒める事が短時間に大量調理出来る事です。温かい料理を温かいうちに食べてもらえそうです。

先日の夕食のメニューのほっけを、今までのオープンと焼き比べて試食をしてみると、ふっくらと焼き上がりスチコンに軍配が上がりました。

毎月のお誕生日メニューや行事食も楽しみです。ピカピカに輝くスチコンを見つけて子ども達も「あれ、なあに」「何でもできるの?」「たこ焼きも?」興味津々に聞いてくるので、「何でも出来るんだよ」と思わず答えてしまいました。

高価な品物にもかかわらず、みんなの為に購入して下さった園長先生ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

